

3. 電気の使用面での取り組み

お客さまの省エネにつながる取り組みを進めるとともに、当社事業所においても一層の省エネ活動に取り組んでいます。

社外ステークホルダーのご意見
エネルギー自給率が低い中でいかに省エネするかが重要
P.24
お客さまとともに進める省エネ活動

お客さまとともに進める省エネ活動

【省エネ情報の提供】.....

お客さま向け会員サイト「キレイライフプラス」では、楽しみながら省エネにつながる専門家の暮らしの知恵や工夫を「プロのオススメ『省エネアドバイス』」として掲載するとともに、ポイントについては動画で解説を加えるなど、お客さまの省エネに役立つ情報を分かりやすく紹介しています。

また、この「キレイライフプラス」に会員登録いただいた方は、「同じ料金プランの平均使用量との比較」ができるとともに、「家族構成が似た家庭との電気使用量を比較できる“省エネランキング”が確認できる」など、ご家庭での省エネの取り組み状況を客観的に確認・評価することができます。



- ご家庭における省エネ方法の例は九州電力
 > 関連・詳細情報 (P2参照)
 > よく分かる電気の省エネ
- 省エネに関する情報は九州電力
 > 関連・詳細情報 (P2参照)
 > 省エネ関連情報
- 省エネに関する情報は九州電力
 > 関連・詳細情報 (P2参照)
 > 電気の省エネ手法のご紹介
- 省エネに関する情報は九州電力
 > 関連・詳細情報 (P2参照)
 > 技術開発における取組み

【環境家計簿による省エネアドバイス】.....

お客さまのご家庭で排出されるCO₂排出量を見える化するツールとして、環境家計簿をホームページで提供しています。

今後、お客さまの省エネ・低炭素化への取組みを支援するため、類似家庭とのCO₂排出量の比較や、簡易な省CO₂アドバイスの提供に向けた機能改善を予定しています。

【ビル・エネルギー管理システム(BEMS)の活用].....

事業所におけるエネルギー使用実態(時間帯別、用途別の電力使用量)を見える化し、エネルギー使用量の最適化を図るため、ビル・エネルギー管理システム(BEMS)を14事業所(3支社、11営業所、2017年3月末現在)に導入しており、着実かつ効果的な省エネへの取組みを進めています。

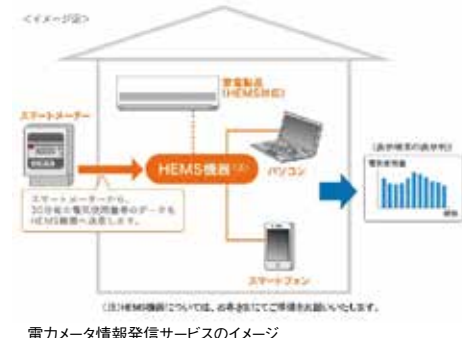
- 「みらいくんの環境家計簿」は九州電力ホームページ
 詳細は九州電力
 > 関連・詳細情報 (P2参照) > みらいくんの環境家計簿

用語集をご覧ください

- 環境家計簿
- スマートメーター
- HEMS(ホームエネルギー管理システム)
- ビル・エネルギー管理システム(BEMS)
- 九電ホームアドバイザー

【電力メーター情報発信サービス】.....

スマートメーターで計測した30分毎の電気使用量をお客さま宅内のHEMS(ホームエネルギー管理システム)に送信するサービスを提供しています。これにより、お客さまは電気の使用量を自宅リアルタイムに確認でき、電気の使い方を工夫することで、より効率的な省エネを行うことができます。



私の環境アクション

**九電ホームアドバイザーと共に
お客さまとの繋がりを深めています!**

福岡東営業所
営業計画グループ
せとぐち ゆうな
瀬戸口 優奈

私は九電ホームアドバイザーと共に公民館を訪問し、「省エネ講座」を開催しています。家庭で簡単にできる省エネについてフリップ等を使い分かりやすく説明するとともに、牛乳パック等の廃材を利用した「エコグッズ作り」を行い、楽しく講座を進めるよう工夫しています。お客さまから「早速家に帰って実践するね」、「今度は別のエコグッズが作りたい」などのお声をいただき、今後の励みになっています。また、参加されたお客さまからIH料理教室等の他の講座への申込をいただくこともあり、省エネ講座をきっかけに地域のお客さまと触れ合う機会が増えてきています。今後も省エネ講座等を通して「エネルギーの相談係」と思ってもらえるよう、日々の活動を懸命に取り組んでいきます。

当社事務所における省エネの推進～オフィス電力使用量の削減～

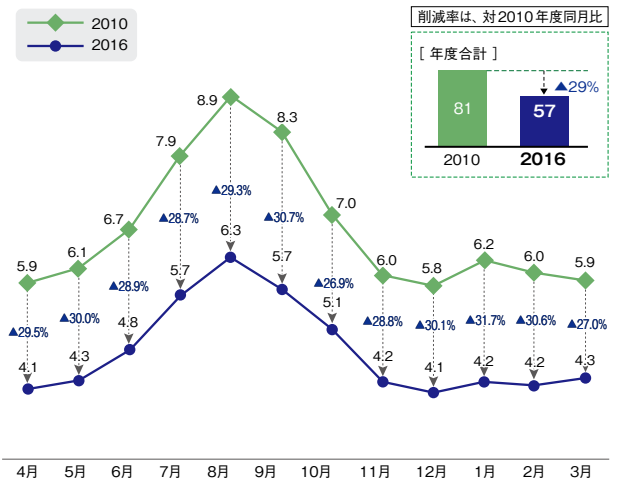
東日本大震災以降の厳しい電力需給等を踏まえ、2011年の夏から継続して、それまでより更に踏み込んだ省エネに九州電力グループ一体となって取り組んできました。

2016年度のオフィス電力使用量は57百万kWhとなり、2010年度比で約29%削減(▲24百万kWh)しました。

2017年度についても、省エネ・省資源活動の観点から、前年度と同様の取組みを実施することとしています。

《 全社オフィス電力使用量削減実績 》

単位：百万kWh



(注) 発電所や研究所など、オフィスのみの電力量が把握できない事業所を除く。

4. 省エネ・省資源活動の展開

社用車におけるCO₂排出抑制やコピー用紙などの省エネ・省資源活動についても取組みを推進しています。

低燃費車の導入やエコドライブによるCO₂排出抑制

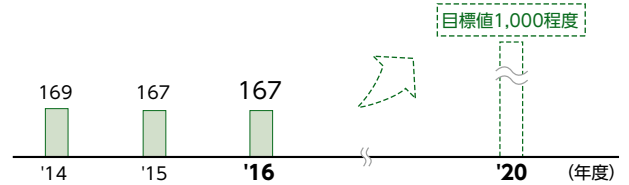
中長期的な地球温暖化対策の観点から、2020年度末までに1,000台程度の電気自動車(プラグインハイブリッド車を含む)の導入を目指しています。

2016年度は、厳しい経営状況を踏まえ、新規導入を見送りましたが、一般車両約2,250台のうち、これまでに累計で167台を導入しています。

また、低燃費車の導入やエコドライブの確実な実施などにより、一般車両の燃料消費率向上にも取り組んでいます。2016年度は、目標(12.0km/ℓ以上)を上回る12.7km/ℓとなりました。

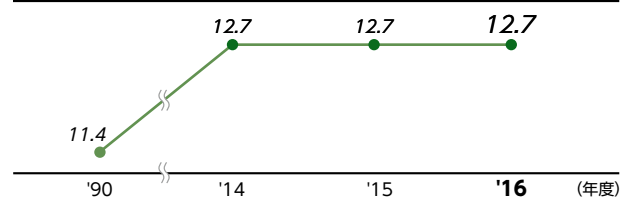
《 電気自動車導入台数(累計) 》

単位：台



《 一般車両燃料消費率 》

単位：km/ℓ



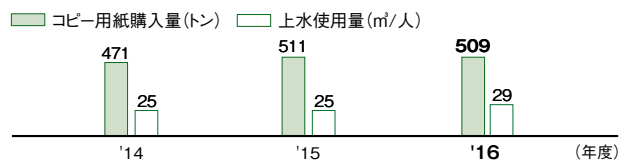
委託輸送に係る省エネへの取組みについては九州電力ホームページ
[詳細は九州電力](#)
[> 関連・詳細情報 \(P2参照\) > 委託輸送に係る省エネへの取組み](#)

コピー用紙購入量・上水使用量の抑制

ペーパーレス化の推進や裏面利用、節水活動の徹底等により、「コピー用紙購入量」と「1人あたりの上水使用量」の抑制に取り組んでいます。

2016年度の「コピー用紙購入量」と「1人あたりの上水使用量」は、ともに目標(470トン以下、24m³/人以下)を達成できなかったことから、2017年度はコピー用紙購入量・上水使用量の抑制に向けた取組みを徹底していきます。

《 コピー用紙購入量・上水使用量の推移 》



用語集をご覧ください

- 地球温暖化
- 電気自動車
- 低燃費車
- プラグインハイブリッド車
- 上水
- エコドライブ

第三者機関による保証を受けた環境データ